家中川水力発電

都留の商店街沿いを流れる、小さな河川は家中川と呼ばれ、1639年の建設以来、この街の生活を支えてきました。最初は、飲料水や灌漑用の水を供給するために設計されましたが、近年は、水力発電として、市民を支えるようになりました。

現在、この川には3つの小発電所があり、親しみを込めて、元気くん1号、元気くん2号、元気くん3号と呼ばれています。元気くん1号は、都留市役所の前にあります。昔、都留にあったような、下から流れる水で回転する、伝統的な木製の水車に似せて作られましたが、古い設計を改良し、水のエネルギーをもっと効率よくとらえるために、後ろに曲がったブレードを使っています。元気くん2号は、さらに下流の、かつて、旧三の丸発電所があった場所の近くにあり、水が上から水車に落ちるとい、新しい設計が特徴です。発電量は3台のうち最大です。元気くん3号は、谷村第一小学校の隣、元気くん1号と2号の間にあります。コンパクトで、非常に少量の水でも作動可能な、最新のらせん状ブレード翼を使っています。